

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース											
エンタテインメント1											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	広瀬 眞之			実務経験	有	職種	音楽家				
担当教員紹介											
ジャズギタリスト、コンポーザー。1979年にCBSソニーからレコードデビュー。1989～90年渡米。帰国後はDAW分野でも活動を始めナンジャタウン音楽、TV番組音楽などを制作。近年はcotoricoプロジェクトや自社レーベル運営などプロデューサー活動も多い。著書に“ジャズ100年史”“Professional MIDI Tips100” など。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、1週間の中でアンサンブルをしてきた楽曲を録音し、ミックスする。マイクrofオンの基礎知識やドラムセット等へのマイキング 基礎テンポに合わせて演奏することから、望む音質・バランスを各楽器で試し、演奏技術の向上には欠かせない録音作業の経験を積むことにより、演奏者としての総合力を向上させる。											
到達目標											
受講学生は、録音作業だけでない音源の完成へのプロセスを学び、個々の行った録音音源の完成を目指す。ProToolsソフトと使用し編集ウィンドウとインストゥルメントトラックと作成する。担当バンドの学生はレコーディング、その他の学生は録音スタッフとして活動し、マイキング、ソフトオペレート等も学習していく。											
授業方法											
この授業では、1週間の実習の中で演奏している楽曲、様々なジャンルで、いろいろな録音作業の実習を積み重ねることを主眼とし、グルーブ感など音に対する反応や、音質・バランスなどの繊細なコントロール等を把握していく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
受講学生全員が同時に録音作業できるわけではなく順番に数人ないしは一人一人の作業となるので、作業中でない学生も常にマイキング、ソフトオペレートなど、スタッフワーク等で学習を続けること。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	授業スタジオの録音システムの基本的な確認。トライアル録音を行い、使用方法・構築システムの基礎的な把握										
第2回	ProToolsソフトを使用した楽曲制作方法基礎編 1～基本設定、編集ウィンドウとインストゥルメントトラック他										
第3回	ProToolsソフトを使用した楽曲制作方法基礎編 2～オーディオトラックとAUXトラック他										
第4回	マイクrofオンの基礎知識の修得。ドラムセット等へのマイキング基礎										
第5回	課題曲スコア（短めのループスコア）を使用して、レコーディング演奏作業に慣れるようにする										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
エンタテインメント1	
第6回	課題曲スコア（比較的短めのスコア）を使用して、レコーディングの演奏基礎力の修得を目指す
第7回	課題曲スコアを使用して、レコーディングの演奏基礎力の修得を目指す
第8回	A/B バンド単位でオリジナル楽曲や課題楽曲を選定
第9回	演奏担当バンドはオリジナル楽曲を演奏しレコーディングを行う
第10回	演奏者以外は録音スタッフとして活動し、マイキング、ソフトオペレート等を学習する
第11回	C/D バンド単位でオリジナル楽曲や課題楽曲を選定
第12回	演奏担当バンドはオリジナル楽曲を演奏しレコーディングを行う
第13回	演奏者以外は録音スタッフとして活動し、マイキング、ソフトオペレート等を学習する
第14回	レコーディング済み楽曲のトラックmix基礎知識編～mixウィンドウとVolume、PAN他～
第15回	レコーディング済み楽曲のトラックmix基礎知識編～Reverb、Comp、EQ、AUXトラック他～